

能登町長選挙
能登町議会議員補欠選挙

投票率は62・44パーセント

持木町長4選



任期満了にともなう能登町長選挙と、欠員が生じたことによる能登町議会議員補欠選挙は3月26日に投票が行われました。即日開票の結果、町長は現職で4期目の持木一茂氏が、町議会議員には元職の志幸松栄氏と新人の馬場等氏が当選しました。

任期は町長が4月10日から平成33年4月9日までの4年間、町議会議員が前議員任期の残り、3月27日から平成30年10月31日までの約1年7カ月間となります。



【町長選挙】

当	もちき 一茂	(票)	7,105
	とりい 俊介		2,730
	無効		281
投票総数			10,116

【議会議員補欠選挙】

当	志幸 松栄	(票)	2,496
当	馬場 ひとし		2,457
	久保田 勝夫		1,824
	山岸 あきお		1,491
	渋谷 つねよし		1,117
	無効		727
投票総数			10,112

能登町長選挙の投票区別投票結果

投票区	投票所	当日有権者数	投票者数	投票率
第1	能都社会福祉会館 1階集会室	1,640	1,121	68.35%
第2	町立宇出津小学校 1階会議室	1,549	1,024	66.11%
第3	町立ひばり保育所 遊戯室	845	593	70.18%
第4	町立三波公民館集会室	504	312	61.90%
第5	町立神野公民館 ホール	500	307	61.40%
第6	町立鶴川公民館 図書室	960	718	74.79%
第7	町立瑞穂公民館 和室	779	484	62.13%
第8	野田コミュニティセンター 和室	1,323	914	69.09%
第9	小間生地区生活改善センター 和室	392	263	67.09%
第10	町立上町公民館 研修室	851	569	66.86%
第11	町立岩井戸公民館 会議室	372	223	59.95%
第12	内浦福祉センター 1階集会場	1,948	1,044	53.59%
第13	町立不動寺公民館 集会室	458	286	62.45%
第14	町立秋吉公民館 集会室	304	211	69.41%
第15	白丸コミュニティ施設 多目的ホール	668	381	57.04%
第16	小木地区活性化センター ロビー	2,084	1,035	49.66%
第17	町立高倉保育所 遊戯室	1,024	631	61.62%
合計		16,201	10,116	62.44%

当選証書授与式は3月28日に役場能都庁舎で行われ、坂東裕選挙管理委員長が当選した3人に当選証書を手渡しました。坂東委員長は「地域活性化のため、着実に取り組んでください」とあいさつし、町の発展に向けて活躍するよう期待を込めました。

持木町長は4月4日に開かれた町議会4月会議の提案理由説明で演壇に立ち、「人口減少対策や地方創生を目指し、町民の皆様とともに、住んで良かったと思える町づくりを進め、町の発展のために力を尽くします」と4期目の意気込みを述べました。第一次産業の振興や新庁舎建設、人口減少対策などの課題に対して着実に取り組み、地域を支える人材の育成などの施策の充実に向け、決意を新たにしました。



職員の出迎えを受けて登庁する持木町長



坂東裕選挙管理委員会委員長から当選証書を受ける持木町長



平成29年第2回
4月会議

能登町議会 登町議会4月会議は、4月4日に開会しました。3月26日の町議会議員補欠選挙で当選した馬場等、志幸松栄両議員の議席および所属委員会を定めたのに続き、議案6件が上程され、すべて原案通り可決されました。

■可決された議案

- ・石川県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙▽指名推選により持木町長が議員に当選
- ・平成29年度能登町一般会計補正予算(第1号)▽歳入歳出にそれぞれ103万2千円を追加し、予算の総額を147億7333万2千円とする。主な事業はLED防犯灯の増設など。
- ・能登町公平委員会委員の選任について▽芦田正良氏・中斉を選任
- ・能登町固定資産評価審査委員会委員の選任について▽小田宏男氏・大箱を選任

・能登町教育委員会委員の任命について(2件)▽仲谷由美氏・天坂、上乗秀雄氏・宇出津を選任

○総務産業建設常任委員会

委員長 椿原安弘

副委員長 市濱 等

委員 馬場 等、國盛孝昭、酒元法子、

河田信彰、宮田勝三

○教育厚生常任委員会

委員長 金七祐太郎

副委員長 田端雄市

委員 小路政敏、南 正晴、向峠茂人、

志幸松栄、鍛冶谷眞一



議席番号12番
志幸松栄 議員



議席番号1番
馬場 等 議員

第9回能登高校入学式

4月10日、能登高校で入学式が開催されました。新入生たちは、在校生たちの歓迎の温かい拍手の中、少し緊張した面持ちで体育館に入場し、式に臨みました。

担任が一人ひとりの名前を呼び上げ、平野活彦校長が新入生の入学を許可しました。新入生を代表し、普通科の牧 和音さんと地域創造科の瀧 響さんが「勉学やスポーツに励み、お互いに切磋琢磨します」と、力強く宣誓を行いました。

平野校長は式辞で「一日一日を大切にして、充実した高校生活を送ってく



書道パフォーマンスで新入生を激励



力強く決意を述べる瀧さん（左）と牧さん

ださい」と述べ新入生を激励しました。祝辞で持木町長が新入生にエールを送り、PTA代表の高田清保さんがお祝いと激励の言葉を贈りました。校歌斉唱で初めて校歌を聴いた新入生たちは、これから始まる高校生活に期待を膨らませている様子でした。今年度は、普通科に38人、地域創造科に29人の併せて67人が能登高校に入学しました。

最先端の研究を漁業に活かす

能登海洋教育研究施設を誘致

能登町と金沢大学は、3月19日、役場能都庁舎で合同記者会見を開き、町内に金沢大学の海洋拠点となる「能登海洋教育研究施設（仮称）」を整備することを発表しました。

金沢大学は、平成30年度に理工学域の学類再編を行い、理工学域生命理工学類を創設し、「海洋生物資源コース（仮称）」を新設する予定です。

この新設されたコースは、石川県の地域特性を活かした海洋生物資源に関する生命科学与環境科学を統合した基礎研究を行い、その研究成果を基礎として新技術・新産業を創出できる人材を育成することを目的にしています。

町では、新たな学類の教育研究施設を誘致するため、九十九湾にある金沢大学環日本海域環境研究センター臨海実験施設の宝来島を望む対岸に、整備する計画です。

研究施設の主な内容

- ・水棲生物の飼育室及び実験室
- ・遺伝子組換え実験室
- ・教員室、会議室
- ・講義室、学生オフィス
- ・教育研究支援施設（食堂、調理室、仮眠室など）

期待する効果

- ・町の新たな産業となりうる海洋資源の開発
- ・能登海洋深層水を活用した養殖技術の開発
- ・地域に密着した新技術・新産業を創出できる人材の育成
- ・研究する大学生、教員や研究施設で働く定住人口の拡大
- ・国内外からの研究者や学生等の交流人口の拡大

ふるさと能登町応援寄附

全国 11,705 人の能登町ファンに感謝

能登町の応援ありがとうございます

平成28年度は、11,705件、1億9771万7701円もの多額の応援をいただきました。全国11,705人の大勢の方が、能登町を応援してくださっています。

町民のみなさんにも町出身者や町と縁がある親類・ご友人などにも積極的にお声をかけていただいた結果でもあります。平成29年度も引き続き「皆さんのふるさと能登町」の応援をよろしくお願いします。

平成28年度のご寄附の活用策について

活力ある住みよいふるさとづくりを推進し、地域の魅力向上を図り、人口減少対策の総合的な推進に資するため「ふるさと振興基金」を設立し、平成28年度には下記の施策に有効活用させていただきました。



猿鬼歩こう走ろう健康大会の開催



自主防災組織の育成

平成28年度の活用推進事業

事業の種類（基金条例）	平成28年度の主な活用事業
地場産業の育成事業	UI ターン者創業者支援助成
観光・地域振興事業	合宿等助成や観光振興対策（イベント・宿泊助成・レンタカー助成）のときリシマツツジ振興
移住・定住促進対策事業	移住・定住にかかる住宅改修等の助成
子育て・社会福祉活動事業	学童保育や公立保育所の運営
教育水準の向上事業	小中学校の教育振興策
スポーツ・地域文化活動事業	猿鬼歩こう走ろう健康大会の開催や地域文化遺産の活用事業
防災・防犯対策事業	防災備蓄品の整備や自主防災組織の育成
環境保全対策事業	防犯灯のLED化事業



レンタカー助成で交流人口拡大

お申し込み方法

町では引き続き支援を受け付けています。インターネットから手軽にお申し込みいただけます。

インターネットからのお申込み、お手続きは「ふるさとチョイス」内の能登町ページまたは町ホームページをご覧ください。インターネット以外でのお手続き

については、ふるさと振興課までお問い合わせください。

ふるさとチョイス

→ <https://www.furusato-tax.jp/japan/prefecture/17463>

町ホームページ → <http://www.town.noto.lg.jp/>

☎ふるさと振興課 ☎ 62-8533